



羅針盤

No.47

東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

2月に入りました。時間の流れはいつも同じなのに、もう1月が終わってしまふのは、時計が早く進んだのだとは思いたくなります。この調子だと、2月は逃げる(28日までですから短いのですが)と言いますから、また早いと感じるに違いありません。

4月の消費税3%アップが目前となりました。色々の業種で増税前の駆け込み需要増加が想像できます。また家庭では消耗品の買い溜め、サラリーマンは定期券の事前購入など、涙ぐましい努力が増えるでしょう。

産廃・スクラップ業界はどうでしょうか。東京都では2020年のオリンピック・パラリンピック準備局が立ち上がりました。また、首都高の老朽化による補修や建替えなども始まり、取運業、処分業も次第に業務量が増えると思われる。

その際には処理品をリユースすべきか、リサイクルなのかを見極め、少しの量でも最適な処理をしてゆきましょう。「少しの量」が、いつかは「山の量」となる筈です。資源循環を考えて処理することで地球環境の保全を図っていくような努力が肝要です。

東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理をお受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



★羅針盤

- 鉄スクラップ** → 考察) 1月は東京製鉄宇都宮工場特級価格38,500円/トンでスタートし、最終的には37,000円/トンと1,500円/トン下がりました。11日以降様子見が続いており、海外輸出も弱含み。景気の回復に伴い発生量も多く国内電炉メーカーは受入の制限をしているため2月も横ばいが続くでしょう。
- 銅** → 考察) 1月は値動きが見られました。年明けLME7,400ドル/トン台、国内銅建値800,000円/トンでスタートし、欧米の株値上昇により6日には20,000円/トン上昇、為替も104円/ドル台。その後LMEは下がり、円高も進んで、最終的には780,000円/トン。為替も円高で102円/ドル台。LME7,100ドル/トン台を كانواじてキープしている。2月に関しては欧米の株値、新興国経済への懸念や米の量的緩和の縮小等による影響でどうなるか難しいですが、横ばいと思われます。
- アルミ** → 考察) LME1,700ドル/トンで後半動きがスタートし、上物が多少上がりました。しかしながらLME自体の大きな変動は見られませんでした。2月も横ばいでしょう。
- プラスチック** → 考察) 塩ビ管、アクリル樹脂の原料が上がっていますがここ数か月SCは価格変動がみられません。2月も同様横ばいと思われます。

1月予測の自己評価

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| 鉄スクラップ | × | アルミ | × |
| 銅 | × | プラスチック | ○ |

鉄・非鉄スクラップ・市況からの2月予測

営業部 Y の考察



私の野球人生

(第8回)

★羅針盤

使用済家電製品は、有価物なの？ 廃棄物なの？

近頃「不用になった家電製品を引き取る」いわゆる「不用品回収業者」が、街中をアナウンスしながら巡っているのを見かけます。この不用品回収に対して環境省は家電リサイクル法に規定する使用済特定家庭用機器(テレビ、エアコン、電気冷蔵庫・電気冷凍庫、電気洗濯機・衣類乾燥機であり、以下「廃家電」といいます。)やその他の使用済家電製品が、収集運搬の処理許可を持たない不用品回収業者が扱える「有価物」か、扱えない「廃棄物」かの判断についての通知を出しております。今回は、その概要をご紹介します。

通知の前書きでは、不用品回収業者による不適正処理がなされているものが(全てではないが)少なくないので、このような不適正処理ルートへの対策を強化する必要があると記しております。

くれぐれも不用品取扱業者への引渡しにはご注意ください。

【廃家電の廃棄物該当性の判断と取り扱い方】

消費者が廃家電を不用品回収業者に引渡す行為は、再使用を目的としていることが明らかな場合を除き、処分を委ねているものと判断すべきで、更に再使用に適さない廃家電については、製品としての市場が形成されておらず、家電リサイクル法等に基づく適正な再生又は処分が必要としております。これらを踏まえ、廃家電についての取り扱い方を次のようにしております。

(1)リユース品としての市場性が認められない場合(年式が古い、通電しない、破損、リコール対象製品等)、又は、再使用の目的に適さない粗雑な取扱い(雨天時の幌無しトラックによる収集、野外保管、乱雑な積上げ等)がなされている場合は、当該廃家電は廃棄物に該当するものと判断して差し支えない。

(2)不用品回収業者が収集した廃家電について、自ら又は資源回収業者等に引き渡し、飛散・流出を防止するための措置やフロン回収の措置等を講じずに廃棄物処理基準に適合しない方法によって分解、破壊等の処分を行っている場合は、脱法的な処分を目的としたものと判断されることから、占有者の主張する意思の内容によらず当該廃家電は、排出者からの収集時点から廃棄物に該当するものと判断して差し支えない。

【廃家電以外の使用済家電製品の廃棄物該当性について】

廃家電以外の使用済家電製品についても、無料で引き取られる場合又は買い取られる場合であっても、直ちに有価物と判断されるべきではなく、廃棄物であることの疑いがあると判断できる場合には、その物の性状、排出の状況、通常の取扱い形態、取引価値の有無及び占有者の意思等を総合的に勘案し、積極的に廃棄物該当性を判断されたいとしております。

使用済家電製品は、廃棄物としての処理が適当です。

前回までは、関東三位で全国大会出場、その後も猛練習を続け、いよいよ全国大会出発までを掲載致しました。

前年先輩方が北海道で成し遂げた日本一という看板を背負い、この調布シニアに入ってきたときからの目標である、自分達の代に日本一になるという思いを込め、8月の猛暑の中、連覇を目指して、全国大会で順当に勝ち進んでいきました。

残念ながら決勝戦までの相手チームなどは覚えておらず、決勝戦だけが鮮烈な思い出となって目の前に再現されます。その決勝戦を振り返りたいと思います。

前回に書いた通り、我々は関東大会の準決勝戦で強豪杉並シニアに負け、関東第三代表で全国大会に出場しました。

杉並シニアには春の大会でも負けており、夏の関東大会でも敗れ、勝つことができずにこの全国大会へ出場したのです。その因縁の杉並シニアも関東第一代表という看板を背負い、順当に勝ち進んでいました。

我々は、準決勝に勝つことができました。その瞬間には、もう一方の準決勝で杉並シニアが負けることを心の中で祈っていたのを思い出します。

しかし神様は、もう一度戦え、そして勝て、と我々に宿命を与えてくれ、杉並シニアも準決勝に勝ち、全国大会の決勝という舞台で再び対戦することになったのです。

初めは決勝の相手が杉並シニアだと決まった瞬間に、みんな意気消沈してしまい、負けが決まったかのように暗くなっていました。しかし、選手だけのミーティングをし、神様がもう一度チャンスをくれたんだ、必ず勝つとお互いに言い聞かせている間にテンションも上がってきました。必ず勝つ、と誓い合って決勝戦に臨みました。

全国大会という晴れの舞台、それも決勝戦です。3年間の苦しい練習を思い出し、中学生生活最後の試合で全力を振り絞って戦ったことを覚えておきます。

試合は、両チームの投手戦で始まり、4回まで0対0と緊迫した試合展開でしたが、5回ついに試合が動きました。5回裏の私たちの攻撃、ツーアウト3塁で、投手で頑張っていた一つ下の後輩が打席に立ちました。打撃があまり得意ではない選手で、期待をしていませんでしたが、なんとセンター前にヒットを打ち、ついに私たちがリード、残す回は2回です。このまま逃げ切れれば日本一ですが、逆にリードし、守っている私達には一つのミスも許されないプレッシャーがかかり、すごく緊張して守っていました。

6回の杉並シニアの攻撃も0点に抑え、1対0のまま、いよいよ最終回の守りに入りました。先頭バッターを打ち取り、ワンアウト、続くバッターも抑え、いよいよ後一人で日本一、続くバッターもツーストライクまで追い込みました。最後の一球と思われましたが、その打球はレフト前に転がり同点のランナーが出てしまったのです。・・・続きます。

(営業部主任) 溝口 仁